

命のビザ、国連の精神、 そしてオランダのコミットメント

2024年6月7日(金) 17:30~19:00

テオ・ペータス オランダ王国大使館全権公使から、第二次世界大戦中、日本の杉原千畝領事とともに「命のビザ」と呼ばれるビザを発給し、何千人ものユダヤ人難民を救出したヤン・ズワルテンダイク在カウナスオランダ領事について講演いただきます。彼らの想いは、国連の設立理念とその世界人権宣言へと繋がりました。オランダにとっての国連の重要性についても講演します。

1. 冒頭挨拶 青木 研 教授
上智大学人間の安全保障研究所長

2. 講演
「命のビザ、国連の精神、
そしてオランダのコミットメント」

テオ・ペータス オランダ王国大使館全権公使



3. 質疑応答

会場：上智大学四谷キャンパス2号館1702会議場
(対面のみ開催)

言語：日本語・英語 (同時通訳あり)

対象：学生・一般

無料
要事前申込



同時開催 (6/7~6/24) 写真パネル展

「キュラソー・ビザ：ズワルテンダイク・オランダ領事と杉原千畝「命のビザ」の原点」

上智大学四谷キャンパス2号館エントランスホールにて

主催：上智大学

共催：オランダ王国大使館 / 上智大学 人間の安全保障研究所

お問合せ：un-weeks-co@sophia.ac.jp

